

2019年文京区議会議員選挙に公認決定!!

山本かずひと

山本かずひと プロフィール ●1965年12月13日文京区本駒込にて出生 ●血液型:AB型 ●星座:射手座 ●大和郷(やまとむら)幼稚園卒 ●文京区立昭和小学校卒 ●文京区立第九中学校 ●玉川学園高等部卒 ●玉川大学文学部英米文学科卒 ●元防衛庁長官(故)衆議院議員中西啓介秘書 ●サラリーマンを経て平成11年の文京区議会議員選挙に初当選。 ●国民民主党東京都連常任幹事 ●国民民主党文京区支部長 ●東京民社協会専務理事(当時最年少33歳)

<http://www.yamamotokazuhito.com>



■ 選挙公約4つの達成状況

皆様、選挙公報をご存知でしょうか?選挙期間中に新聞に折り込まれる選挙活動の一つのツールです。また、投票行動の判断材料にもなるものです。私は、前回の区議会議員選挙(2015年)において、選挙公報に4つの選挙公約を示させて頂きました。そこで、2019年4月の改選を控えこの4年間でどれだけ公約を達成することが出来たかを、自己評価させて頂きましたので、是非ご査収頂ければ幸いです。

公約 1

妊産婦に優しい文京区をつくります!...達成度70%

現在文京区では、妊婦検診の回数が14回に拡大し、併せて公費負担助成も行われています。私は、更なる拡充を目指し、国が例示する超音波検診を1回から4回に、そしてHIV検査についても公費負担の対象にするべく取り組んで参ります。また、妊産婦のメディカルケアや産後ケアとして、様々な育児相談ができる場を提供して参ります。

達成状況

超音波検診が、区の公費負担で1回から3回に拡大されました。また、産後ケア対策では、区内の助産施設や総合病院と区が締結をして、ショートステイを可能とした文京区版ネウボラ事業をスタートさせました。

公約 2

地域と共に歩む開かれた学校をつくります!...達成度50%

学校は地域に育まれその歴史や校風によって確立されてきているものです。私は、地域の意見や考えを強く反映することができる、コミュニティ・スクール制度を全小・中学校に導入して参ります。

達成状況

現在、小・中学校全20校のうち、6校に導入されました。選挙前が3校そしてこの4年間で3校の計6校となります。教育委員会の見解としては、特に全校導入の目標は立てておらず、地域の自主性を尊重しながら順次導入をするとのこと。個人的には、新たに駒本小と九中で始まったので、今度は昭和小にも導入されるよう働きかけを行って参りたいと存じます。

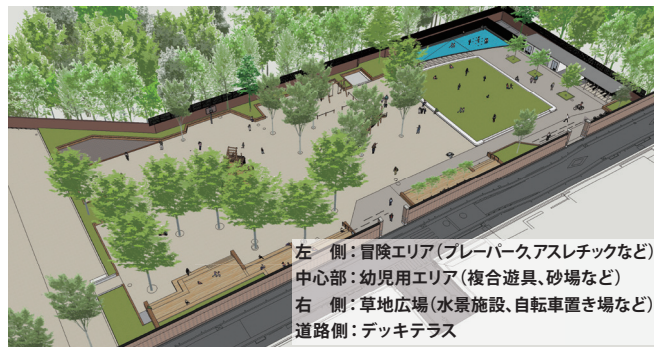
公約 3

自由に遊べる公園「プレーパーク」を文京区につくります!...達成度90%

「自分の責任で自由に遊ぶ」を理念とし、プレーリーダーと呼ばれる大人が見守る中、子どもの自主性を尊重とし禁止事項を極力なくして遊ぶ、新しいスタイルの公園「文京プレーパーク」を開設いたします。

達成状況

プレーパークの事業化には至っておりませんが、プレーパークが楽しめる公園として、六義公園が全面改修されることが決定し、平成31年7月に完成する予定となりました。



左側:冒険エリア(プレーパークアスレチックなど)
中心部:幼児用エリア(複合遊具、砂場など)
右側:草地広場(水景施設、自転車置き場など)
道路側:デッキテラス

公約 4

健康寿命NO.1の文京区をつくります!...達成度90%

文京区の高齢化率は、20.4%と東京都平均の22.5%を下回っておりますが、私は高齢者の皆様がいままで元気に暮らすことができるよう、介護予防の充実、ミドルシニアのスポーツ振興、そしてひきこもりや認知症予防対策の強化、また一人暮らしの応援など、健康寿命NO.1の文京区を目指して様々な施策を進めて参ります。

達成状況

文京区の人口は年々増加する一方、高齢化率は19.7%と3年前に比べ低くなっています。更に、要支援1を受けるまでの健康寿命年齢に関しては、男性81.59歳、女性83.05歳と、何れも23区で第一位となりました。

■ 任期4年を振り返って

2019年4月に施行される統一地方選挙を迎えるに際し、この任期4年を振り返らせて頂ければと存じます。前回の統一地方選挙(文京区議会選挙)後に、私は民主党を中心とする無所属系議員を含めた10人の会派を結成し、自民党を超える第一会派となり、新しい任期をスタートさせて頂きました。しかしながら、成沢区政に対する距離感や方向性の違いが徐々に表面化していく状況が続き、苦渋の決断により任期の折り返しを迎えた2年後に、私は最大会派を離脱し新会派「文京永久の会」を結成させて頂くことになりました。現在、文京区議会の会派構成は、区政を進める立場の会派と区政にブレーキをかける立場の会派と、数の上で拮抗している状況の中「文京永久の会」3人は、区政の前に進める立場でありながら、キャスティングボードを握る会派となり、区政において

常に存在感を示す政策集団となりました。そして、私は第43代副議長を拝命し、まさに議会の調整役として様々な議会改革にも取り組み、その結果16年振りとなる全議員提出議案の成立にも汗をかかせて頂きました。

とにかくこの任期は、お互いの勢力が拮抗した会派構成の中で、時には可否同数により議長裁定にまでもつれ込んだ案件も生じるなど、これまでにない程の緊張感と使命感をもった議会運営が展開されました。また、個人的にも、人生初の会派離脱を経験するなど、議会活動においては、様々な人間模様の中で荒波に揉まれ、また党務活動においても、民進党の事実上の分裂による組織の再構築など、大きな壁に幾つもぶつかった4年間となりました。今後も、こうした経験をプラスに捉え、引き続き区民福祉と行政サービスの向上に尽力して参る所存ですので、ご指導ご鞭撻の程を宜しくお願い致します。

ブレない信念、変わらぬ初心。